



受付第04A2609号
 受付日：平成17年 1月 7日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成17年10月 7日

財団法人 建材試験センター
 中央試験所長 勝野 幸伸
 埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84番9号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：2倍コンパクトボックス K-4 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 使用条件：筋かいの取付；金物端部が柱及び横架材に接触するように設置（図-1参照） 金物設置位置；金物の筋かい外面と軸組の外面を合わせて設置 寸法：120×120×35mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具 クリ皿ビス 5.5×45，筋かい側6本，柱及び横架材側各4本使用 長さ；45mm，ねじ部の長さ38mm，ねじ部の外径；5.5mm，谷の径；3.4mm ねじ山のピッチ；3.1mm，ねじ先の形状；とがり先 材質：SWRCH18A (JIS G 3507) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：樹種；べいまつ，寸法；105×180mm 柱及び土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 間柱：樹種；すぎ，寸法；30×105mm 筋かい：樹種；べいつが，寸法；45×90mm</p> <p>4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2. 「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.1kN，終局変形角γ_uの平均値：1/16rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-5 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-6～図-12 破壊状況：写真-1～写真-4</p>
備考	当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の二に定める 45×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。
試験期間	平成17年 8月23日 ～ 24日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 高橋 大 祐 試験実施者 守屋 嘉 晃 ， 早 崎 洋 一
試験場所	中央試験所